



世界へ 地域へ

グローバルシティズンのための101のコンセプト

1 背景

正解のないVUCA時代における新たな教育のあり方を模索

SDGs時代における地球市民教育
 国連の専門機関ユネスコも地球市民教育の重要性を認めています。SDGsターゲット4.7では「グローバル・シティズンシップ」教育の推進も目標に掲げています。



小林亮、2019年、「ユネスコの地球市民教育が追求する能力〜グローバル時代における価値教育の新たな展望〜」、『玉川大学教育学部紀要』第18号、P.19
 VUCA = V (Volatility : 変動性)、U (Uncertainty : 不確実性)、C (Complexity : 複雑性)、A (Ambiguity : 曖昧性) の4つの単語の頭文字をとった言葉で「先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態」を意味します。

正解のない時代に求められる能力

将来の予測が困難な時代には、答えのない問題に解を出していくための合理的・批判的な思考力や、人間としての責務を果たし他者に配慮しながら社会的責任を担う能力が求められています。

中央教育審議会、2012年、「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて〜生涯学習が続き、主体的に考える力を育成する大学へ〜 (答申)」、文部科学省、P.5

社会を変える女性への期待

「ジェンダーギャップ指数」が低く、言わば「女性活躍後進国」と目される我が国において、清泉女子大学の地球市民学科では社会を変える人 (Change Maker) を育成しています。

World Economic Form, 2023年、「Global Gender Gap Report 2023」、P.216-217

2 開発者

日本で唯一の地球市民学科と山本秀樹氏が共同開発

2001年創設の清泉女子大学文学部地球市民学科は日本で唯一の地球市民学科として、グローバルな視野をもち地球社会のために行動できる「地球市民 (Global Citizen)」の育成に注力しています。従来より国内外でのフィールドワークやプロジェクトなど「教室を飛び出す学び」を重視していますが、2021年度に開始したのがこのプログラムです。著名な米国ミネルバ大学の教育方法を参考にしており、地球市民学科の教員と『世界のエリートが今一番入りたい大学 ミネルバ』(ダイヤモンド社)などの著者である山本秀樹氏 (AMS 合同会社代表) が共同開発しました。



清泉女子大学本館 (旧島津家本邸)

3 教育内容

知識ではなくモノの見方・考え方を伝授



正解のないVUCA時代には、陳腐化する知識ではなく、汎用的なモノの見方・考え方を伝授することが重要です。地球市民学科では「批判的思考力」「創造的思考力」「関係構築力」「情報発信力」から構成される101のコンセプトを抽出し、1年次の必修授業「基礎概念」(週2コマ)で伝授しています。予習・復習を前提に、授業では2つのケース・スタディを行い、一方通行の講義ではなく、ひたすらグループワークを積み重ねます。言わば年間約100回の「ディスカッション道場」で鍛えています。

- | | |
|---|---|
| 批判的思考力
1. 「目的」
2. 「行動規範」
3. 「ヒューリスティック」
4. 「ギャップ分析」
5. 「認知バイアス」など | 創造的思考力
1. 「バックキャスト」
2. 「デザイン思考」
3. 「逆転思考」
4. 「観察」
5. 「アルゴリズム」など |
| 関係構築力
1. 「ナッジ」
2. 「共有地のジレンマ」
3. 「リーダーシップ」
4. 「同調圧力」
5. 「レジリエンス」など | 情報発信力
1. 「聴衆」
2. 「言語表現のジャンル」
3. 「表情」
4. 「身体表現」
5. 「芸術」など |

コンセプト授業のトリセツ-1 (予習)



コンセプト授業のトリセツ-2 (授業)



<授業サイクル>
 コンセプトブックの予習→リーディング課題→授業(2つのケース・スタディ)→復習(事後課題)を年間約50回繰り返します。

4 社会からの評価

我が国における大学教育の可能性を切り拓く試み

三菱みらい育成財団の「21世紀型教養教育プログラム」として採択され、2021年度〜2023年度まで連続助成を受けています。「我が国における大学教育の可能性を切り拓く取り組み」として評価されています。

最先端の概念型カリキュラムとして注目

大阪大学の佐藤浩章先生がリーダーを務める「コンセプト・ベースド・カリキュラム」に関する共同研究チームが最先端の概念型カリキュラムとして注目しており、日本高等教育開発協会の叢書のシリーズ本としてオンライン出版される予定です。

5 学生の満足度

受講生から高い満足度

週2回、予習(毎回リーディング課題あり)・復習を繰り返すハードな授業ですが、2022年度に受講した学生の87%が「とても満足」「どちらかといえば満足」と回答しました。



学生のからの熱いメッセージ

- 「見える世界が一気に変わる」
- 「本当に頭がよくなる授業」
- 「天才になれる授業」
- 「今後の学生生活や人生において必要なもの」
- 「好奇心が掻き立てられるエキサイティングな授業」
- 「こんなにも達成感が得られる授業はない」

